

## CATV 網を活用したスーパーハイビジョン映像伝送

～世界初、従来比約 1/2 の帯域でフルハイビジョン、スーパーハイビジョンの同時伝送～

KDDI 株式会社、KDDI 研究所、株式会社ジュピターテレコムは、フルハイビジョン、スーパーハイビジョン（4K、8K）の超高精細映像を高圧縮して、同時に伝送することが可能な映像圧縮符号化方式を開発し、CATV 網を利用した伝送実験に世界で初めて成功した。従来のフルハイビジョンは 1 チャンネル、スーパーハイビジョンの 4K は 2 チャンネル、8K は 5 チャンネルの帯域が必要であったが、本方式では従来比約 1/2 となる 4 チャンネル分の帯域でフルハイビジョン映像とスーパーハイビジョンの 4K 映像、8K 映像の同時配信を実現した。これにより、従来の CATV インターネット伝送技術を活用して、既存の CATV サービス（放送・電話・インターネット）へ影響することなくフルハイビジョン、スーパーハイビジョンの超高精細映像を配信することが可能となり、大型モニターを使用するパブリック・ビューイング等での活用のほか、家庭への配信をより現実的なものとした。具体的な実験内容としては、フルハイビジョン（2K）、スーパーハイビジョン（4K、8K）の超高精細映像をまとめて高圧縮かつ階層的に扱える映像圧縮符号化方式を新たに開発し、CATV 網を活用したフルハイビジョン（2K）、スーパーハイビジョン（4K、8K）の超高精細映像の同時伝送に世界で初めて成功した。映像圧縮符号化方式は、超高精細映像において特に効果的に働く符号化機能を新たに導入した独自方式であり、圧縮性能は、H.264 方式はもとより、最新の国際標準である HEVC 方式よりも優れている。

### <圧縮技術イメージ>

